

平安書道会事務局だより 平成三十一年正月号

会員の皆様には謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年は己亥、陰陽五行説をひくと、「己」は植物が成長してゆく状態をいいます。「亥」は「閉ざされる」という意味を持つので、合わせると「現在の状況を維持する」歳。来年は百周年、大いなる躍進のための準備の歳となるでしょう。昨年一年の行事をご紹介します。

総会

第九十八回 公募展

一月二十八日、京都駅前タワーホテルにて、総会が開かれました。平成二十九年の行事報告と三十年の事業計画、決算報告・予算案の報告があり、昇格者の紹介も行われました。総会後には懇親会が開かれ、新年を祝いました。

植物が成長してゆく状態をいい持つので、合わせると「現在の  
る跳躍のための準備の歳となる

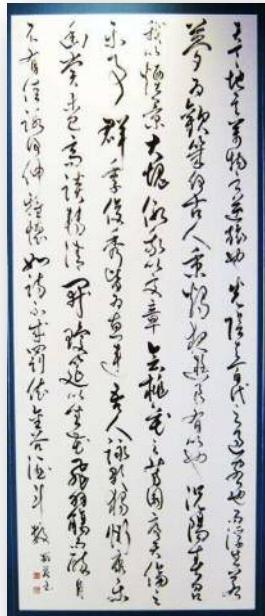
前年から続く美術館本館のリニューアル工事のため、今年は会場を、三条高倉の京都文化博物館に移し、第九十八回公募展が開催されました。平成最後の公募展です。

第九十八回 公募展

「壁面を飾る作品は抒情的で豊かな作品が多く、歴史の長さと懐の広さが感じられる」  
（雑誌『墨』の評を借用）となりました。

二十一日には午後より会場内で授賞式が行われ、小学生から一般の方まで五十人が、賞状と副賞を授与されました。

同日六時半から柳馬場六角の「綿善」にて祝賀会が開かれ、受賞者への一言インタビューも飛び出し、会場を沸かせました。



平安大賞受賞作品  
上田桃苑

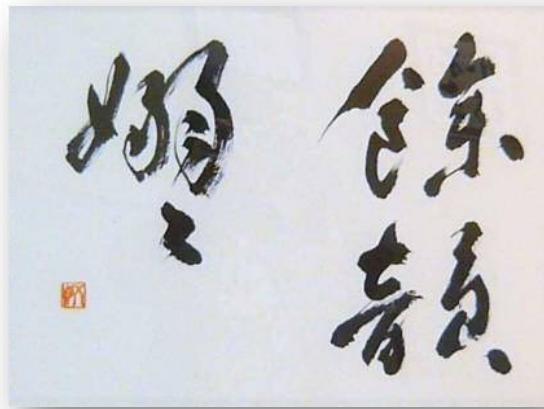


平安特別大賞受賞作品  
伊藤山鳳



第三十八回 聚英展

九月二十日から二十三日まで、京都文化博物館において聚英展が開かれました。平安書道会審査員による選抜展も、もうすぐ四十回を迎えます。漢字や仮名、篆刻に現代詩文など四十二点、小粒ながらも見ごたえある作品が並び、来場者の目を楽しませました。。



植田穂積会長作品



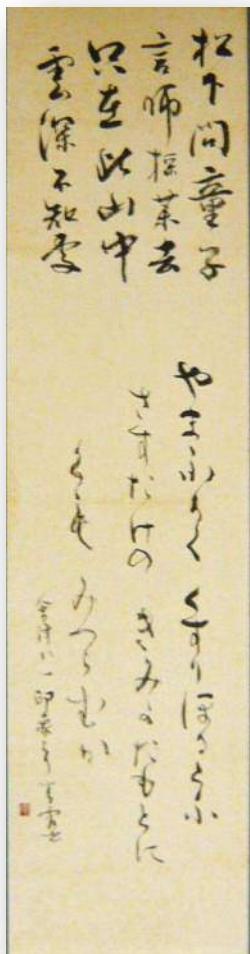
都賀田久馬副理事長作品



上田雅堂理事長作品



平安書道全展



壠部青霄副理事長作品



『先人法要と筆供養』 正覺庵

正覺庵にて、平安書道会、先人物故者の法要が行われました。

白洲次郎の父で、明治時代に貿易商として財をなした白洲文平の近代和風邸宅「白洲屋敷」を移築したもの。と先日報道されました。

午後からは筆供養。集められた古  
い筆や鉛筆が焼き上げされました。  
いつものことながら東福寺界隈は  
紅葉見物の人で埋め尽くされていま  
した。



《今年の行事予定）	
一月十三日（日）	一時半 理事会
一月二十七日（日）	八一トピア京都 三時半
総会・新年会	京都タワーホテル
春（日時・場所未定）	
公募展運営委員会（要項等配布）	
九月四日（水）	
九月五日（木）～八日（日）	第九十九回平安書道会公募展搬入
第九十九回平安書道会公募展会期	京都文化博物館
十一月二十三日（土）	
先人供養・筆供養	
正覚庵	
十二月	
第三十九回聚英展	京都文化博物館

十二月

第三十九回 聚英展

京都文化博物館

十一月二十三日（土）  
先人供養・筆供養

先人供養・筆供養

正覺庵

九月四日（水）  
第九十九回平安書道会公募展搬入  
九月五日（木）八日（日）  
第九十九回平安書道会公募展会期  
京都文化博物館

京都文化博物館

公募展運営委員会（要項等配布）